

令和3年5月定例教育委員会 会議録

- | | | | | | |
|---|------|--|--|---|--|
| 1 | 日 時 | 令和3年5月31日（月） | 開 会 | 午前 | 9時30分 |
| | | | 閉 会 | 午前 | 11時00分 |
| 2 | 会 場 | 茅野市役所 8F 大ホール | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員
教育委員 | 山田 利幸
濱 勝之
勅使川原はすみ | 同職務代理者
教育委員 | 矢島喜久雄
永嶋 陽子 |
| | 出席者 | こども部長
こども課長
学校教育課長
文化財課長
こども係長
生涯学習係長 | 有賀 淳一
五味留美子
五味 正
五味 健志
宮下 孝
河西 茂廣 | 生涯学習部長
幼児教育課長
生涯学習課長
スポーツ健康課長
教育総務係長
教育総務係主事 | 北沢 政英
柳澤 澄子
田中ひろみ
伊藤 善彦
春日 雅彦
小池 智也 |
| 4 | 傍聴者 | 4名 | | | |

5月定例教育委員会次第

日 時 令和3年5月31日（月）午前9時30分から
場 所 市役所 8階 大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）市議会6月定例会一般質問について

（2）市議会6月定例会に提出される予定の議案に対する意見について

（3）県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

（4）市民等に押印を求める手続き等の見直しに伴う教育委員会規則等の一部改正について

5 検討事項

（1）総合教育会議の開催について

6 その他

（1）子どもの居場所づくり実施事業について

（2）令和2年度相談状況について

（3）茅野市高等職業訓練促進給付金等実施要綱の一部改正について

（4）市民等に押印を求める手続き等の見直しに伴う市規則等の一部改正について

（5）ちの縄文遺産市民ガイド育成について

次回定例教育委員会日程について

6月25日（金）午前9時30分「8F 大ホール」

（事務局会議 6月10日（木）午前9時00分「701会議室」）

7 閉会

教育長

只今から5月定例教育委員会を始めます。

前回4月の会議録承認について確認させていただきます。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

報告事項に入ります。報告事項第1号をご覧ください。

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、5月の連休は行事がありませんでした。

当初予定していた成人式も、中止ということで大変残念でした。

代わりに、市長からのメッセージをパンフレットにして記念品を一人一人にお送りしてあります。後ほど生涯学習課から詳しく説明させていただきます。

10日に中諏校長会、市校長会がありました。

12日には臨時議会、13日には高校教育課との懇談会がありました。3月に諏訪地方の高校教育の今後のあり方に対する答申を6市町村で出したことに対してのお礼に参られました。

今後も様々なご意見を頂きたいと思います。

まだ時間かかると思いますが「諏訪地区の高校をどのように変えていくか」ということが、これからの大きな課題になると思います。

14日は諏訪養護学校の先生方が見えられて、今年度の諏訪養護学校との連携のあり方について意見を交換しました。例年の内容ですが、先生方は昨年度に引き続いて花田養護学校も同様に子どもたちの感染症対策に非常に気を使っていました。

17に全員協議会、18に教育委員会事務局会、19に地域経営会議がありました。

20日にはセカンドブック手渡しの会がありました。手渡し会のトップになります。

私は永明小学校に行って参りました。例年と違い保護者の方の読み聞かせはせず、地域の方からの本の手渡しのみで終わってしまいましたが、子どもたちは非常に満足な表情をしていました。来年こそぜひ一緒に座って本を読みたいと思います。

同日に株式会社地域文化創造取締役会、26日には株主総会がありました。後ほど生涯学習部から説明させていただきます。

21日に司書教諭の会、調べ学習コンクール実行委員会がありました。

会議では、茅野市のセカンドブックはなぜ大切なのかという話をしました。

司書教諭の先生方は、ほとんどが学級担任と司書教諭の兼任という中でかなり大変ですが、頑張ってくださっています。

調べ学習コンクールは、今年度も子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思います。

24日には調べ学習コンクールと関係して、読書教育の文部科学大臣賞の報告がありました。

受賞は豊平小学校で、約3年前から研究を始めて一人一人の課題に即した読書ということがテーマでした。

数年前から豊平小学校の読書の様々な課題をお聞きしていたわけですが、その克服に向かってかなり力を入れてくださいました。

25日、26日は校長面談がありました。27には社会教育委員の会議がありました。この1年間の活動計画、公民館、総合博物館等の活動計画をご審議いただきました。

報告事項第1号は以上です。

報告第2号、学校教育課お願いします。

○学校教育課長

報告第2号をご覧ください。

学校教育課の5月の予定になります。

23日水曜日8時40分から主幹指導主事訪問があります。会場は北山小学校、豊平小学校です。

担当されている教育委員の方、よろしくお願いします。

25日金曜日 9時30分から定例教育委員会、8階大ホールで予定をしておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○こども課長

2ページをご覧ください。

通常の行事以外では、12日にぼくらの未来プロジェクト動画制作講座の第1回目の講座がワークラボハケ岳のイベントスペースで開催します。全部で10回の講座を予定しています。

以上です。

○幼児教育課長

3ページをご覧ください。

6月は内部の研修、会議のみになります。

以上です。

○生涯学習課長

4ページをご覧ください。

先ほど教育長さんからお話のありました5月2日に予定していた成人式については中止になりましたが、5月の内に対象者714名の新成人の方にしおりやその他の記念品等を送付済みです。

その中には新聞等でも報道のあったARフォトフレームを今回新たに付け、スマホで写真を撮ると「祝茅野市」などのフレームが付き、ご家族の方々との共有や自分で保存できるような仕組みとなっています。

4ページに戻り6月の予定ですが、6月は各小学校のセカンドブックの手渡し会、小中の読書参観日が始まります。

18日の調べ学習研修会は、司書教諭・学校司書の先生方の調べ学習の合同研修会です。また開催場所がゆいわく茅野となっていますが、8階大ホールに変更となります。

5ページをご覧ください。家庭教育センターの6月行事予定です。

託児を伴う講座が延期になっておりますが、おはなし会などは実施して参ります。

6ページをご覧ください。図書館の6月行事予定です。6月は定例のおはなし会を予定しています。

7ページをご覧ください。公民館の6月行事予定です。6月については、新規講座として2日に第1回クラフトバンド講座。18日に第1回アウトドア体験講座を予定しています。

その他、高齢者大学入学式が中止になりましたが、教養講座・技能講座と日を分けて6月に開催の予定です。

28日に第1回公民館運営審議会を予定しています。

生涯学習課は以上です。

○文化財課長

8ページをご覧ください。尖石縄文考古館6月行事予定です。

20日、23日とちの縄文遺産市民ガイド育成プログラムを開始します。

この件については後ほど、「その他5」でご説明します。

26日、27日と縄文教室②「仮面の女神を作ってみよう」を予定しています。

縄文教室①「国宝「土偶」(縄文のビーナスを作ってみよう)」は5月29日、30日の日程で開催しました。

次に9ページをご覧ください。ハケ岳総合博物館、神長官守矢史料館の6月行事予定です。企画展「武田信玄の古文書～武田信玄生誕500年～」は、守矢史料館で7月4日まで開催中です。それぞれグループ、クラブ活動は随時開催しています。また予定の講座等も資料に沿って開催していきますのでご覧ください。

文化財課は以上です。

○スポーツ健康課

10ページをご覧ください。スポーツ健康課の6が行事予定です。

4日、5日に予定されていた関東スポーツ推進委員研究協議会は残念ながら中止となりました。

6日に茅野市総合体育大会総合開会式は、新型コロナウイルスため中止ということで委員の皆様にはご承知済みですが、ご承知よろしくお願いします。

20日には諏訪地方スポーツ推進委員会独自事業が計画されていましたが、金曜日の委員会でこちらも中止となりました。

スポーツ健康課は以上です。

○教育長

報告事項は以上になりますが質問ご意見ありますか。

○全委員

異議なし

○教育長

続いて報告第3号「教育委員会後援共催」についてお願いします。

○生涯学習課長

4月26日から5月25日受け付け分として、8件の後援申請がありました。

要領に基づき審査し、承諾決定しました。

○スポーツ健康課

2ページをご覧ください。スポーツ健康課では、第76回国民体育大会卓球協議長野県予選会（少年の部）について、長野県卓球連盟により後援依頼があり承諾決定しました。

以上です。

○教育長

ご意見ありますか。

○全委員

意見なし。

○教育長

それでは議案に入ります。

議案第1号「市議会6月定例会の一般質問について」をお願いします。

○こども部長

6月の定例会では、教育委員会関係・子ども部・生涯学習部に合わせて8名の議員さんから10件のご質問をいただきました。

この会の中でご助言等あればお願いします。

発言順序に沿ってご説明します。

まず発言順序3、14番議員伊藤玲子議員から2つご質問いただき、1つ目は「ひきこもり支援について」ご質問をいただいています。

小項目として、1点目がひきこもりの実態把握と認識について。

2点目が支援の現状と課題について。

3点目が重層的支援体制整備事業の取り組みについて。

4点目がひきこもり支援の専門部署へ担当者を置くことについてです。

主には健康福祉部の管轄になりますが、こども課も若干関連してきます。

ご質問の2つ目は「ヤングケアラーの支援について」です。

小項目として、1点目がヤングケアラーの実態把握と認識について。

2点目が支援の現状と課題について。

3点目が複数機関との連携研修等の支援体制についてです。

続きまして発言順序4、3番議員吉田基之議員から「子どもたちを取り巻く生活環境の課題への施策について」質問をいただきました。

小項目として、1点目が通学区についての今後の方向性等について。

2点目が小学校中学校の通学路の安全対策について。

3点目が中学校の自転車通学についてです。

続きまして発言順序7、8番議員木村明美議員です。

茅野市における新型コロナウイルス感染症対策についてご質問いただきました。

小項目として3点ご質問をいただいておりますが、その中で教育委員会関係するものとしては3点目、感染者を守る対策についてです。

○生涯学習部長

続きまして発言順序8、4番議員竹内巧議員から、運動公園の健全経営に向けた取り組みについてご質問いただいております。

小項目としましては、3点です。

1点目が運動公園が存在する目的と意義について。

2点目が費用対効果と市民ニーズについて。

3点目が指定管理者による施設管理についてです。

○こども部長

発言順序10、1番議員両角実晃議員から永明小中学校建て替えによる社会体育館の活用方法についてご質問いただきました。小項目として2点です。

1点目は社会体育館の建設規模について。

2点目が建て替え後の活用方法についてです。

続きまして発言順序13、2番議員木村かほり議員より2つ質問をいただいております。

まず、子どもの声を聞くアドボカシーの取り組みについてです。小項目として3点いただいております。

1点目は現在届いている子どもの問題について。

2点目は子どもの声を聞く現在の体制について。

3点目は子どもアドボカシーへの取り組みの可能性についてです。

質問の2つ目は「生理の貧困への取り組みについて」です。小項目として2点いただいております。

1点目は生理用品の配布の実施について。

2点目は学校での配布についてです。

続きまして発言順序14、13番議員伊藤正陽議員から「新型コロナウイルス感染症対策について」ご質問いただきました。

全体として5点質問いただいておりますが、その中で教育委員会の関連としては小項目の1番、子どもが感染した時の学校や保育園等の対応について、が該当します。

○生涯学習部長

3ページをご覧ください。発言順序16、16番議員、望月克治委員の質問ですが質問番号に誤りがあります。件名が1番となっておりますが28番、2番となっておりますが29番になりますのでご訂正をお願いします。

望月議員からは「公民館活動や市民活動を活発化することについて」のご質問をいただきました。小項目としては4点あります。

1点目はコロナ禍で中央公民館はどのような取り組みをしているか。

2点目は今後の公民館活動の活性化について、検討はされているか。

3点目はコロナ禍で、市民活動センターはどのような取り組みをしているか。

4 点目は今後の市民活動の活性化についての検討はされているかです。
この中で生涯学習部が関係する項目は2点です。
以上です。

○教育長
ご意見質問ありますか。

○全委員
異議なし。

○教育長
それでは次の、議案第2号「市議会6月定例会に提出される予定の議案に対する意見について」お願いします。

○こども部長
茅野市6月定例議会に提出される予定の議案ですが、ご覧の通り議案10件、報告案件6件です。
このうち、教育委員会に関連するものは、議案第26号、第27号、第28号、議案第33号、報告については報告第3号、報告第7号です。それぞれご説明します。

2ページをご覧ください。議案第26号です。

「令和3年度茅野市一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認を求めることについて」です。

地方自治法の規定により専決処分をしたのでこれを報告し、承認をお願いするものです。

専決日は、令和3年4月12日です。4ページに専決処分をした理由を、記載していますので、後ほどご確認ください。

6ページをご覧ください。

歳入歳出予算の補正（第1号）として、歳入歳出予算額の総額に歳入歳出それぞれ3537万円を追加し、歳入歳出をそれぞれ274億3537万円とするものです。

初めに、歳出についてご説明します。

11ページをご覧ください。3款民生費で3537万円の補正増です。2項1目事業13の「子育て世帯生活支援特別給付金支援事業費で、3537万円の補正増です。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で低所得のひとり親世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から食事等による支出増加の影響を勘案して、子育て世帯生活支援特別給付金を支援する経費を予算計上するものです。

歳出は以上です。

次に10ページにお戻りください。歳入をご説明します。

15款国庫支出金で3537万円の補正増です。

以上が議案第26号です。

次に13ページをご覧ください。議案第27号です。

「令和3年度茅野市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認を求めることについて」です。地方自治法の規定により令和3年4月28日付で専決処分をしましたので、これを報告し承認をお願いするものです。

15ページに専決処分をした理由を記載していますので、ご確認をお願いします。

17ページ、予算書の中身をご覧ください。

第1条、歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4646万8000円を追加し、歳入歳出それぞれ274億8183万8000円とするものです。

初めに歳出について説明します。

22ページをご覧ください。教育委員会に関係ある部分をご説明します。

はじめに、4款衛生費が2460万円の補正増です。このうち、1項2目事業2「感染症予防対策事業費」が2460万円の補正増です。

こちらは、コロナ禍で安心して子どもを預け利用することができるよう、市内の小中学校や保育所等の子育て施設に勤務する職員等を対象としたPCR検査の委託料として、1393万7000円を補正予算計上するとともに、市内の私立保育所等の子育て施設に勤務する職員等を対象として、実施するPCR検査の費用についてその全額を補助するため、454万3000円の補助金を予算計上するものです。こちらについてはすでに事業を実施し、5月9日にPCR検査を実施したすべての方の陰性が確認をされています。

また、10款教育費が116万8000円の補正増です。

続いて23ページをご覧ください。5項一目事業4成人式開催事業費で116万8000円の補正増です。5月2日に、延期開催を予定していた成人式ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止になったことに伴い、お祝いの気持ちを新成人の皆さんにお送りするため、図書カード等の記念品やお祝いメッセージを印刷するための経費を予算計上するものです。

内容については先ほど生涯学習課長の方からご説明があった通りです。

歳出は以上です。

続いて21ページをご覧ください。歳入です。

15款国庫支出金として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で4646万8000円の補正増です。

以上が議案第27号です。

続きまして24ページをご覧ください。議案第28号です。

「令和3年度茅野市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて」です。地方自治法の規定により令和3年5月17日に専決処分をしたのでこれを報告し承認をお願いするものです。

26ページに専決処分の理由を記載していますのでご確認をお願いします。

28ページをご覧ください。第1条歳入歳出予算の補正で予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億7419万6000円を追加し、歳入歳出それぞれ277億5603万4000円とするものです。

初めに歳出についてご説明します。33ページをご覧ください。

教育委員会に関連する部分では、3款民生費で5919万6000円の補正増です。2項1目事業10「子どもの居場所づくり推進事業費」で、375万円の補正増です。これは、コロナ禍における単年度の緊急支援策として、子どもの居場所づくり実施事業を実施するための委託経費を予算計上するものです。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、失業または収入が減少する等の損害を受けた家庭の子どもが社会的孤立に陥らないよう、居場所や食事の提供など子どもと支援を結びつける繋がり場をNPO等に委託して整備するとともに、そこでの相談等の情報を共有することにより、必要となる子ども家庭支援につなげて参ります。

続いて同項同目事業13の「子育て世帯生活支援特別給付金支援事業費」で、5544万6000円の補正増です。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯を除く低所得の子育て世帯に対し、対象児童1人当たり5万円の特別給付金を給付し、生活を支援するための経費を予算計上するものです。事業10の補正の中ではひとり親世帯がありましたが、こちらの事業13はひとり親世帯以外の部分ということになります。

以上が歳出です。

続きまして、歳入について32ページをご覧ください。

15款国庫支出金で2億2419万6000円の補正増、16款県支出金で3000万円の補正増、18款寄附金で2000万円の補正増です。

以上が議案第28号です。

続きまして議案第33号です。

令和3年度茅野市一般会計補正予算(第5号)です。37ページの予算書をご覧ください。

第1条の歳入歳出予算の補正で、総額に歳入歳出それぞれ9634万1000円を追加し、歳入歳出それぞれ278億9728万5000円とするものです。最初に歳出についてご説明します。

44ページをご覧ください。3款民生費で652万円の補正増です。2項2目事業8の「私立保育園等支援事業費」で、同額の補正増です。こちらは、野あそび保育ささはらの施設改修に係る補助金を当初予算に計上しましたが、食事室の設置等の追加工事の費用について国の交付金の増額内示を受けられたことから、その増額分について予算計上するものです。

46ページをご覧ください。

10款教育費で270万円の補正増です。

5項2目事業2市民館費で270万円の補正増です。

これは株式会社地域文化創造の茅野市美術館で行う企画展「表現とその軌跡すわの工芸（仮称）」が一般財団法人自治総合センターの地域の芸術環境づくり助成事業に内定されたことから、補助金を予算計上するものです。

以上が歳出です。

続きまして42ページをご覧ください。歳入についてご説明します。

15款国庫支出金で7082万6000円の補正増、20款繰越金で921万5000円の補正増、21款諸収入1460万円の補正増、そして22款市債で170万円の補正増です。

以上が歳入です。39ページをご覧ください。第2表地方債補正です。

こちらは1件の変更を行うもので、私立保育園改修事業に関わる、地方債で限度額400万円から570万円と170万円の増額をするもので、先ほど説明しました野あそび保育ささはら施設改修に係る補助金の増額分に、財源充当するものです。

議案第33号は以上です。

続いて48ページをご覧ください。報告第3号の「令和2年度茅野市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について」です。令和2年度茅野市一般会計補正予算の繰越明許費を別紙の通り、翌年度に繰り越したので地方自治法地方自治法令の規定により報告するものです。

49ページは、令和2年度茅野市一般会計予算繰越明許費繰越計算書です。50ページ51ページをご覧ください。全体では22事業ですが、教育委員会に関係するものとしては、50ページの最下段小学校運営費から51ページの最下段教育費の中学校教育事務費までの7行ですのでご確認をお願いします。

○生涯学習部長

続きまして審議会報告第7号、「株式会社地域文化創造の経営状況について」ご説明します。

こちらは、資料が膨大ですので、例年添付していません。口頭での説明となりますのでご了承ください。決算案件については、地方自治法の規定により地方公共団体が出資率50%以上出資する法人の経営状況について議会での報告義務がありますので、この6月議会に報告し承認を得るものです。詳細は省略させていただきますが、令和2年度業績の概要といたしましては、当期純利益は150万9000円の黒字でした。

市民館の利用者数は、昨年より約9万人少ない、4万8257人です。こちらは、年度当初の約2ヶ月間の休館及び、会場内入場者制限等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策が大きな要因となっています。また令和3年度も、令和2年度に引き続き、「あなたにつなぐ、あなたから繋がる」を年間事業テーマとして市民が文化活動に参加しやすい環境を作り、地域文化創造の拠点となるよう発展性を持った事業を実施する計画です。

報告につきましては、6月10日の議会全員協議会で報告します。

議案第2号については以上です。

○教育長

非常に濃い内容でしたが、報告事項について質問ご意見あったらお願いします。

○勅使川原委員

専決処分の関係ですが、11ページの専決処分第8号で説明された国から10/10補助が出る子育て世帯生活支援特別給付金の支給を何件程度予定しているのかを教えてください。

もう1点、一般会計補正予算(第3号)の3款民生費2項1目事業10の「子どもの居場所づくり推進事業」について、後ほど「その他1」で話があると思いますが、この部分は先ほど単年度と説明されていたが、この事業が国からは単年度として出ているが、茅野市としてはこの事業は継続していくつもりでいるのかということをお聞きしたいです。

さらにもう1点、事業13の「子育て世代生活支援特別給付金支給事業」については先ほど出たひとり親以外の方について1人あたり5万給付するというのは家庭にいろいろな状況があるということで、今回の新型コロナウイルス感染拡大で低所得になった家庭を対象に考えていると思いますが、こちらも国から補助金が全額出るので金銭面ではなく茅野市として、支援の対象をどの程度考えているのかお聞きしたいと思います。

○教育長

それでは順番にご説明をお願いします。

○こども課長

11ページの「子育て世帯生活支援特別給付金支援事業」の関係は、ひとり親世帯としては696人程度で予算を計上させていただいています。

昨年度もひとり親世帯につきましては給付しており、その人数を上回る数字ではないですが、昨年同様の数字ということで予算計上が約696人となっています。

次に、子どもの居場所づくりの考え方についてです。居場所作りについては、先ほど部長が申しあげました通り単年度事業で考えています。

375万円と決して少額ではないと思いますが、今回は国の補助事業を活用しながらということで実施をしています。今年度実施した状況を分析し、来年度以降の貧困対策推進計画を立てる中で、施策につなげていけるかを検証していきたいという目的がありますので、単年度という形です。また国の方で同様の補助事業が継続されるということであればその都度判断します。

次に子育て世帯の世帯数については詳細な状況把握はできていませんが、約1000人弱の対象者を見込み予算計上をしています。

今回、中学3年生まで支給になっている児童手当の支給者の中で、非課税世帯に関しては積極支給ということで申請不要で給付していく形になりますので、その方々については、6月に令和2年度市民税の額が確定した際に、この情報をもとに申請なしで支給をしていきます。

それ以外の家庭の家計急変についてはご案内をさせていただき、申請をしていただく形ですが具体的な人数や、状況は現段階では把握できていないので今後進めて行きたいと思います。

○勅使川原委員

33ページのひとり親世帯以外の家庭においても新型コロナウイルス感染症等で家計の急変があり苦しい状況にある家庭もあると思いますので、先ほど説明のあったような支援事業を広く周知していただきたいです。

○教育長

他に質問ご意見ありましたらお願いします。

それでは、議案第3号「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について」をお願いします。

○学校教育課長

議案の第3号について、長野県教育委員会と市町村教育委員会は、全県の視野に立って教育行政の適正かつ円滑な運営を図るため、教職員の任免その他の身体等に関して次の了解事項を取り交わすとしています。

また、令和3年5月31日から令和4年5月31日までの間これを実施するものとします。

2ページの了解事項をご覧ください。

1つ目として教職員の任免その他の進退について。

2つ目として令和4年度教職員人事異動の基本方針について。

3つ目として1及び2の取り扱いについては、別所覚書によって適正に行うということ。

4つ目として人事の仕組みの検討について。

5つ目として人事異動方針の見直しについてとなっています。

○教育長

ご意見ご質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

次に議案第4号「市民等に押印を求める手続き等の見直しに伴う教育委員会規則等の一部改正について」をお願いします。

○学校教育課長

議案の第4号の市民等に押印を求め手続きの見直しについてご説明いたします。

国は国民や事業者等に対して押印を求める行政手続きの見直しを行うとともに、地方公共団体に対しても対応を求めています。

当市といたしましても、デジタル・ガバメントに向けた準備及び市民等の申請等の負担軽減を目的として、押印を求める手続きの見直しを行うとともに、性別や郵便番号等手続きに不要な項目を削除する見直しを行っていることに伴う、教育委員会規則等の改正になります。

5ページの「茅野市小学校教育施行細則」

6ページの「茅野市教育委員会の共催及び後援に関する事務取扱要領及び茅野市立小学校及び中学校職員職務規則」

7ページの「尖石縄文文化賞条例施行規則」のにつきましては、教育委員会の規則等になりますので、押印等の廃止に伴う様式の印を取るという内容になっていますのでご確認をお願いします。

以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

続いて検討事項1「総合教育会議の開催について」をお願いします。

○学校教育課長

今年度の総合教育会議は、8月5日木曜日午後3時からを予定しています。

1ページに、平成27年度から昨年度までの総合教育会議の議案を記載しています。今年度の総合教育会議の内容につきまして、ご発言等をお願いします。

○教育長

矢島委員ご意見あったらお願いします。

○矢島委員

コロナ禍において、今まで考えられないような教育の状況があると認識しています。

このコロナ禍で私たちは多くの人と関り、いろんな体験の中からその後の生きる力を伸ばそうとしてきたが、それをよしとしてやってきたことが言い方悪いですが「関わるな」、「なるべく離れる」という状況の中で、今求められる茅野市の教育のあり方や、このコロナが一段落してからの教育のあり方を、将来を見据える立場としてお話し合いができればいいなというふうに考えます。

○教育長

濱委員いかがでしょうか。

○濱委員

今回のコロナに関連して、今後の教育をどうするかを考える会議になればいいと思います。

今までの常識が、時代の変化に伴い様変わりし今まで誰も経験をしたことがない中で今後どうしていくかという対応や、今後について話ができればいいと思います。

○教育長

永嶋委員お願いします。

○永嶋委員

お二人の委員さんがおっしゃったように、コロナに関することがテーマになると思いますが、正しいかそうではないかを議論するのではなく、茅野市では現在どのような状況の方がどの程度いるのかという現状を把握し、今後の自治体でどのように扱っていくべきかを8月の会議で取り上げていきたい思います。

○教育長

教育内容だけではなく、子育て支援も含めることが大切だと感じます。

勅使川原委員お願いします。

○勅使川原委員

現状ははっきりまとまっていませんが、コロナ禍で経済状況が悪化しており子どもや家庭に対する支援の方法や子どもたちの心と体の健康について改めて意見交換したいと思います。

○教育長

事務局いかがでしょうか。

○学校教育課長

今日提案していただいた意見も含めてたくさんの意見・情報を交換していただき、有意義な会議になればと思います。

○教育長

委員の皆様には今後ともご意見よろしくをお願いします。

次にその他1「子どもの居場所づくり実施事業について」をお願いします、

○こども課長

その他1の資料をご説明します。

先ほどこども部長から補正予算第3号でご説明した事業の内容となります。

目的は3点で、こちらも先ほどこども部長が説明しましたので説明は省略しますが、3つの目的を持って実施します。

実施方法ですが、市内で子どもの居場所事業を実施する団体に委託をするということで、履行期間としては、令和3年7月1日から令和4年3月31日までの期間で考えています。

予算の上限額については、1団体当たり125万円。委託団体は3団体を予定しています。

実施内容ですが、①居場所の提供②相談等の情報共有③食事提供、宅食、弁当配布、食材提供などの食事支援④衣食住などの生活支援⑤学習支援という5項目の実施を考えています。

①②の事業については必須事業とし、③から⑤につきましてはいずれか一つでも可とするということで考えています。

食事提供等については月1回、学習支援は長期休みの開催を下限条件とするということで条件を出しています。この125万円の使い方については、五つの事業をすべて実施した場合については120万円、自分の事業の拠点以外で実施した場合に加算ということで5万円、すべての事業と拠点を移して実施する場合については、125万円の契約をしていくということで、3事業場合は80万円、4事業の場合は100万円ということで実施の通知を出しています。

財源ですが、先ほど説明しました補正予算第3号で、5月17日付で専決が済んでいます。

15款2項2目事業5「地域子供の未来応援交付金つながりの場づくり緊急支援事業補助金」を活用しています。

また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金も活用し実施をしていくものとなります。

その他委託団体の選出方法については、茅野市プロポーザル方式実施要綱に準じて、公募を予定しています。

今後のスケジュールの参加申請書提出期限が5月28日の火曜日になっていますが、金曜日の間違いで、こちらは午後5時までということで申請団体からの応募の期限をとっています。

本日5月31日に質問の受け付け期限で、6月2日に質問の回答いたします。

実施計画書が6月7日に提出期限ということで9日に審査会を開き、審査結果の通知公表をしていくことで契約の準備を行い、事業開始は7月1日で予定しています。

3団体の委託事業ということですが現在、参加申請の申し込みは8団体からいただいています。説明は以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

勅使川原委員お願いします。

○勅使川原委員

子どもの食事や居場所に関する事業は新聞等でよく目にしていて、今回の委託事業に関してもそのような団体の方々が申請を出されていると思いますが、その団体が現行の事業をそのまま継続していくのか、それとも事業の中に何か変化を加えていくのかを教えていただきたいです。

もう1点、子どもの居場所づくりという点では、食事の提供やお弁当の配布していないが、当初各地区にこども館があり、どんぐりプランの中で考えた子どもの居場所、地域の方々との関わりを思い描いてきたと思うが、そのこども館のあり方をもう一度考えるべきだと思います。まず子どもの居場所づくり実施事業の①と②が該当していて、時代や社会状況の中でこども館自体も変わっていく必要もあると思います。私はどんぐりネットワーク茅野の幹事会から引退していて、一般の目線から見ていると内容的に変化がないように思います。

せっかく行政が力を入れている地区こども館があるので、さらに充実させ当初の思いの通りに発展していけたらいいなと思いますが、現在はどのような状況なのか教えていただきたいです。

○こども課長

今後実施計画書が出てきますので、事業の内容や変化についてのご質問については現状わからない状況ですが、この実施内容の五つの項目を示させていただきご提案をいただくということになりますので、④の衣住などの生活支援関係で応募団体の方から市では思い浮かばないご提案をいただければと思っています。

地区こども館の件については委員さんおっしゃる通りだと思っています。

現在地区こども館は、午前中の利用者ほとんどおらず利用者0人の時もありますので、午前中の開館や土曜の開館については、利用者少ない中で今まで通りのコンセプトで開館していくことを課題として話し合いを続けています。ただ夕方の子どもの居場所としては、学校帰りに立ち寄る場所としては利用者がとても多い状況になっていますので、ある程度こども館は地域に密着していく場所としてはコンセプトに沿っているかと思います。

その件も踏まえ今回の子どもの居場所づくり実施事業については、その点も視野に入れながら発展させていきたいと思っています。

今回3団体で実施していきますが、8団体の申請があったということで子どもの居場所について考えている方がたくさんいらっしゃることにとても驚いたと同時に、心強さを感じています。このような方々と今ある地域やこども館がどのように連携して子どもの居場所を地域の方々を巻き込みながらそのどんぐりプランの主旨に沿ってうまく絡めていけるのかをしっかりと考えていきたいなと思います。

○教育長

他にご意見質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

続いて、その他2「令和2年度相談状況について」お願いします。

○こども課長

その他2の資料をご覧ください。令和2年度の相談状況について報告します。

こちらは、令和2年4月から令和3年3月までの集計になります。

1ページ目は相談状況をまとめたものです。2ページ以降の資料は種別ごと前年度比較も記載していますので、あわせてご覧ください。

相談延べ件数は5699件となり、（）内は新規相談の件数です。令和元年度と比較して、延べ件数、新規の件数ともに増加しました。

学校の休校や普段と違う生活となった中で、先が見えない不安等の新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものと考えています。

2ページの内容別相談件数を見ますと、児童虐待や養護相談の「子どもが育つ環境」や「育てる側の相談」が多く寄せられました。

一方不登校の相談については新規延べ件数は大きく減少しましたが、全体の件数は微減の状況です。

休校をきっかけとして登校ができるようになったケースもあれば、登校渋りに繋がるケースもありました。

「児童虐待」については、子どもの面前での夫婦げんかから通告のあったケース、心理的虐待や言うこと聞かない、やるべきことをやらないなどを理由とした体罰として日常的にたたいてしまっているケースを含めた身体的虐待が多く見られています。

家庭で過ごす時間が増えたことにより、新規件数が増加したことが考えられます。

学校再開後は、子どもの見守りを強化していくことに重点を置く中で、育ちあいちの職員が定期的に学校に出向き各学校との連携を強化し、コロナ禍における心のケアや子ども一人一人の把握に努めました。

「養護相談」とは、保護者の問題を主とした養育困難等での相談です。

「性格行動」については、児童の人格の発達上問題となる反抗、友達と遊べない、落ち着かない等の内容になります。発達検査の依頼から支援に繋がるケースに加え、作業療法士の配置による体制強化の結果と考えられます。

「育児・しつけ」については、こども館や家庭教育センターで気軽に相談をしていくケースが増えていきます。

「適正」は、進学相談や職業適性等の相談です。

「その他」については、特定妊婦に関する相談を計上しています。

1ページのⅡに、形態別相談件数がありますのでご覧ください。

形態別相談件数としては高校生が若干少ないものの、どの年代層もほぼ同じ割合であると言えます。

虐待関連の一覧表は、実人数とその対応の内訳となっています。確認は安否確認をしたもの、送致については児相につなげ一時保護したものとなります。

3ページをご覧ください。2は形態別相談件数、3は相談年齢階層別件数、4ページには経路別相談件数新規の内容と内訳を示しています。電話相談が一番の状況ですので、育ちあいちの認知度が上がったことによるものと考えています。

また、関係者会議や支援者会議の充実により、新規の件数が増加しています。

相談別件数で幼児の件数が増加してきたことについては、母子健康包括支援センターとの連携強化により、特定妊婦の把握や出産後は兄弟がいる場合は家族全体として受理し家庭支援を行っている状況です。

園児については、作業療法士による保育園訪問の実施による増加となっています。

また、子どもの面前での夫婦喧嘩による通告についても、幼稚園児の家庭が多く見られます。

特定妊婦とは、若年・望まない妊娠・精神疾患がある中での妊娠等の出産を迎えるまで支援が必要となる妊婦を言います。

4 ページの経路別相談では「家庭親戚」が一番多く次いで「学校」となっています。

福祉事務所・保健福祉サービスセンターからの取扱件数の増加については、母子健康包括支援センターとの連携強化により、養育に職種の支援を必要とするケースが増加したものと考えています。

続いて虐待についてですが、相談件数は令和元年度より増加しています。

虐待は兄弟受理をするため、全員虐待案件として受理し家庭全体の支援をしています。

児童虐待の区分別では、心理的虐待が最も多くなっています。家庭内のDVや喧嘩は子どもの前で行われ子どもが見聞きする案件が増加をしています。

DVの場合は、警察と連携して安全確保を行っています。主な虐待者は、実父49%、実母41%となっています。

被虐待児童の年齢については、0～3歳未満が20%、3歳から学齢前が17%、小学生が49%、中学生7%、高校生7%でした。

虐待通告経路としては、「家庭・親戚」、「福祉事務所・保健福祉サービスセンター」からの通告と、安全確認が多くありました。

虐待ケースに限らず家庭の問題や発達特性等様々な要因が複雑に絡み合っていて、継続支援が必要であり簡単には終結できないケースが多くなっています。

これからも育ちあいちの専門性を十分に生かし、チーム支援を行っていききたいと思います。

令和2年度の相談状況は以上です。

○教育長

質問ご意見ありましたらお願いします。

○勅使川原委員

虐待の関係で、子どもの前での夫婦間の喧嘩は大人思っている以上に子供への影響は大きいです。しかし、両親にとっては虐待にあたるという認識がないと思うので、学校だよりなどを活用して周知していくべきだと思います。

○こども課長

相談や実際に虐待があった場合には現場を確認する過程で心理的虐待は虐待に入るという話は、その都度させていただいていますが、これだけを特化してお知らせすることは難しいですが、工夫していきたいと考えます。

○勅使川原委員

子どもの前で手を上げたりだけでなく親同士が喧嘩をしていることも、子どもにとってはかなりのストレスになると思い、そのような現状を両親がしっかりと把握してるのか不安で、周知することで子どもが心配しているということに気付けるのではないかと思います発言させていただきました。

○こども部長

ご意見とても大事な点でして、常々育ちあいちの等の広報に努めていますが、そんな中にご意見いただいた内容も含めて広報できればいいと考えております。

○教育長

その他ご意見質問ありますか。

○全委員
なし

○教育長

手段はいろいろあると思います。

PTAの講演会中、学習会の中等コロナで難しいですがこれからコミュニティスクールの関係しっかり努めていきたいと思います。

夫婦での喧嘩というのは、これくらいは大丈夫という面もあるかなと思います。

相談件数、相談事例の複雑化という中で誰でも相談できるというわけではなくて、専門相談員の方の専門性が、これからますます問われていくと思います。

研修報告等うかがっていますが、これからもお願いしたいと思います。

続いて、その他3「茅野市高等職業訓練促進給付金等実施要領の一部改正について」をお願いします。

○こども課長

その他3の資料をご覧ください。

こちらの要綱については、資格取得のために養成期間で修業する場合にその期間中の生活負担軽減のための給付金を支給するものです。こちらの改正については、令和3年4月16日付けで厚生労働省こども家庭局通知による一部改正に伴い、市の要綱を改正するものです。

新旧対照表方式になっていますので、こちら見ていただきながらご説明します。まず第2条の支給対象者ですが、今までは養成機関における1年以上のカリキュラムを支給対象としていましたが、今回の改正は（）にあるように、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに修業を開始する場合には、6ヶ月以上ということで、雇用保険法の規定に基づく一般教育訓練のうちの、情報分野の資格取得の講座に限っては6ヶ月ということも認めるという支給改正になっております。

2ページになりますが、対象資格については第3条で示した通りシスコシステムズ認定資格、LPI認定資格の資格が追加されました。

こちらの資格は、ネットワークの設計や構築、ネットワークの監視運用サーバー設計構築と認定資格が生かせる職種になっていますので、このような内容の資格を取得する場合については6ヶ月で給付金を出すという改正となっています。

第5条は支給額になりますが、第5章の1項1号についてこの（）のところが付け加えられたものになりますが、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに修業を開始する場合においては、12ヶ月未満である時は月額14万円となる改正、2号については1号に記載されている以外について養成期間における課程の終了までの期間が12ヶ月未満であるときには、支給する額について当該期間のみ月額11万4000円となるという改正です。

第6条は事前相談の実施についても同様の改正になっています。

ここで付則ですが、この告示は公布の日から施行し、令和3年4月1日から適用するということで、令和3年5月28日に告示をしています。

説明は以上になります。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員
なし。

○教育長

次にその他4「市民等に押印を求める手続き等の見直しに伴う教育委員会規則の一部改正について」をお願いします。

○学校教育課長

議案４でご説明をした内容と同様の内容ですが、こちらは教育委員会関係の市の規則等に関しまして押印等の省略をするものです。

ページ15、16、17ページに該当する規則等が載っておりますのでご確認ください。

以上です。

○教育長

ご意見質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

次にその他５「ちの縄文遺産市民ガイドの育成について」をお願いします。

○文化財課長

資料をご覧ください。

まず目的ですが、近年尖石縄文考古館を観覧する方々から「国宝土偶の出土遺跡に是非とも足を運びたい。」との声が高まってきています。こうした要望に応えることで、茅野市の縄文文化のすばらしさを多くの人に伝えるだけでなく、観光誘客にも繋がると考えています。

そこで、これまでも館内の解説ボランティアとして活動されている縄文検定上級合格者を中心に、市内の縄文文化遺産を案内できるガイドとして育成を図っていきます。なお、茅野観光まちづくり推進機構との連携も考えています。

市民ガイド育成の対象者は縄文検定上級、中級合格者等を考えています。

参加申し込みは６月１日火曜日から受け付け、講座は日程の通り。６月20日から毎月２回、同様の内容で実施し上級合格者以外は２年間受講、講義と実習の二本立てのプログラムとなります。講座修了後、ちの縄文遺産市民ガイドとして、当面茅野観光まちづくり推進機構を窓口として受け入れた団体の考古館内及び史跡等屋外の解説を優先的にしていただくとともに、「縄文市民科」の指導補助等に対応していただくことを考えています。

この市民ガイド育成を、茅野市から縄文全体を発信するきっかけにもしていきたいと思います。説明は以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

講座の先生は、どのような方が務めるのでしょうか。

○文化財課長

講座の講師は、文化財課の職員が務めます。また特別講義で外部講師をお呼びすることも考えています。

○教育長

観光の問題としても、できるだけ充実したものでお願いしたいと思います。

その他ご意見がありましたらお願いします。

最後に、生涯学習課をお願いします。

○生涯学習課長

追加で茅野市民館関係について口頭のみになりますが報告します。

市民館の指定管理者である株式会社地域文化創造の代表取締役所長が、5月26日の株主総会をもちまして変更となりましたのでお知らせします。

今まで辻野隆之社長でしたが、今度新たに代表取締役社長といたしまして久保祥剛氏へ5月26日付で変更となりました。辻野前社長については、取締役顧問という形で取締役として残留されます。

その他、美術館長の前田忠史氏も取締役になります。

総務部長であった竹内陽子氏も取締役総務部長という役職になります。

○教育長

ご意見質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

事務局お願いします。

○教育総務係長

6月の日程についてご報告します。

次回6月の定例教育委員会については6月の25日の金曜日。

午前9時30分から8階の大ホールで行います。

事務局会議については6月10日の木曜日9時から701会議室の方で行います。

以上です。

○教育長

以上で5月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和3年6月25日

茅野市教育委員会

教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長